

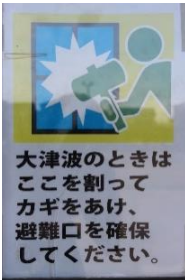


# コミュニティ・スクールだより

釧路市立共栄中学校 コミュニティ・スクールだより 第3号  
平成29年11月22日(水) コミュニティ・スクール事務局

## 平成29年度釧路市立共栄中学校 土曜活動 ～地域合同防災訓練の実施～

平成29年10月21日に共栄中学校で第3回土曜活動が実施され、地域合同の防災訓練が行われました。昨年は6町内会への呼びかけでしたが、今年は共栄中学校区の柳町公園までにある26町内会に案内を出し、地域から約50名近くの方の参加をいただきました。共栄中学校に初めて入る、共栄中学校を卒業してから初めて入る方もおり、「新校舎に入ることを楽しみにしていた」という声を聞くことができました。



今回は、大津波が発生した想定「津波避難訓練」「火災発生煙体験」「大津波発生時の備蓄品」をお知らせする他、気象庁の方に津波発生時の原理をスライドと津波発生装置を使って分かりやすく説明してもらいました。



大津波発生時には本校が避難所になっていること、生徒玄関の右端の通用口を非難口として使用することなどを確認しました。その中では、「ガラスはどのくらい力で割れるのだろうか?」「夜であれば、誰が、いつ、どのくらいの時間で来てくれるのだろうか?」など、普段には意識されていないことが心配な事として話されました。

## □地域合同防災訓練 ～大津波発生時の避難訓練の実施～

土曜活動の1時間目の最中に、大地震が起こりその影響によって大津波が発生するという想定で、地震・大津波の避難訓練を実施しました。生徒は慣れている校内なので3階まで素早く行動することができました。今回は、参加して頂いた地域住民の方に3階まで上がってもらいました。3階まで上がるとなるとやはりきつい人もいるのが現実でした。3階に上がってから色々なお話しをするなかでは、「隣近所の足の悪い人をここまで連れてこれるだろうか?」「車いすの人はどうやって3階まで上がるのだろうか?」「3階にどれくらいの人が入れるのだろうか?」などのことが意見として出されました。特に、災害時の夜に避難した際には、電気も水道も使えないことも考えられることなど、災害時の一時避難としても厳しい状況であることが確認されました。



## □合同防災訓練の実施 ～津波発生時の原理について～

今回の防災訓練は、気象庁の方にお越し頂き、津波について詳しく説明してもらいました。避難訓練を行う1時間前から津波発生装置を組み立てて、水を入れ、装置を



完成させるのにも時間がかかりました。しかし、その装置のおかげで、実際に津波が起きる現象を目で見ることができ、生徒も参加した地域の方も分かりやすく理解することができました。また、生徒達にはスライドも活用して、釧路に津波が来た場合の状況なども詳しく説明してもらいました。



## □合同防災訓練の実施 ～大津波避難 備蓄品の展示・アルファ米試食～

今回参加して頂いた方にお知らせしたかったことの一つに本校に備蓄している物品を紹介することでした。



災害時に避難する際に、本校にどのようなものが置いてあるのか。また、備蓄品をどのように扱えば良いのか。などのことを被災時になる前に知って頂き、被災した際にはしっかりと活用して頂きたい。との思いがありました。当日には、実際に備蓄して



いるものと同じアルファ米を教育委員会から頂き、PTAの研修部・健全育成部のお母さんたちに炊き出してもらい、生徒や参加して頂いた地域の方全員に試食してもらいました。被災時と同じように水を使って1時間かけて炊き戻し、一口大の大きさに握り、食べやすいようにラップでくるんでももらいました。食べた人からは口々に「美味しい」との声が聞かれ、被災した際に食べる時には、ホッと安心できるんだろうと思えました。



## □合同防災訓練の実施 ～火災発生時の煙体験～

今回、教育委員会から借りたものは、被災時の段ボールベットと試食用のアルファ米、それから

火災発生時を想定した煙体験を行える、煙発生装置でした。1階の教室の中に机を真ん中に寄せ(煙で見えないので通常から移動)て煙発生装置を使って煙を充満させ、火災を想定した教室を歩く体験を行いました。当初教室に煙を充満させるには時間がかかると思っていましたが、予想以上に煙は噴射され、教室のドアの隙間から漏れ出た煙は廊下も煙らせ、一時は校舎の1階は煙で前が見にくい状態となりました。煙自体は有害なものではないので生徒は大丈夫でしたが、もしもこれが「本当の火災ならば!」とぞっとする思いでした。やはり、有害な煙でなくてもまっすぐに進むことはできず、火災発生時の怖さを体験することができました。

